

IRB番号「2025-GB-059」

研究課題名「頭頸部表在癌に対する治療後の予後と嚥下機能に関する検討」

1. 研究の対象

2000年1月から2024年12月までに当院で頭頸部表在癌に対して経口的切除もしくは放射線治療を受けられた方。

2. 研究の目的・方法

頭頸部表在癌に対する標準治療として経口的手術、放射線照射±化学療法が挙げられますが、頸部表在癌に対しては根治性のみならず、術後機能を考慮することが求められます。経口的切除は低侵襲であり、その治療成績は良好であることが報告されておりますが、現状、当院でも症例に応じて内視鏡切除術、ビデオ喉頭鏡手術、ロボット支援手術を選択し施行しております。しかし、治療後に問題となる嚥下機能低下との関連を報告した既報は少なく、治療後のQOLを維持する最良の治療選択は定まっておりません。本研究では頭頸部表在癌に対する最適な治療選択を明確にすべく、嚥下機能、および治療後予後に関する関連因子の検討を行うことを目的としております。方法は上記対象者の診療録、内視鏡所見、病理組織学的所見より検討項目を抽出し、治療後の嚥下機能をスコアリングし嚥下機能低下、予後に関連する因子を統計解析を用いて検討します。

3. 研究期間

承認日 ～ 2029年12月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。
情報：カルテから抽出可能な患者情報（年齢、性別等）、内視鏡所見（病変部位、病変範囲等）、病理組織学的所見（病変のサイズ、深達度等）

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者 上部消化管内科 医員 見本 雄一郎
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141